

第2回計画策定円卓会議

9月8日、第2回計画策定円卓会議を開催しました。前回に引き続き、問題解決に向けて、住民が頑張ったのできる「こと」と、行政にやってほしい「こと」を絞り出しました。今回も白熱した内容で濃い会議になりました。紙面だけでなく、本当に必要なとしている声を集める作業は簡単ではありません。しかも、将来の油木地区そして神石高原町のために声を上げるのですから熱が入るのも分かります！



季節を感じる

南ゆきのとある地域にヤマユリが群生していました。花の香りは日本自生の花の中では例外的ともいえるほど、甘く濃厚でとても強く、莽莽から開花までには少なくとも5年以上かかります。また株が古いほど多くの花をつけ、風貌が豪華で華麗であることから、「ユリの王様」と呼ばれています。



花の季節は7〜8月頃。せひ、来年探してみてください。



第2回計画策定委員会

前記の円卓会議にて、広くたくさんの方の意見を出し合い、まとめた意見をすべて実行するのは至難の業です。ですが、どんな小さな声でも拾い上げる作業が、これからの神石高原町にとって良い結果を生むと感じております。

そしてそれらの声を、油木地区全体で取り組めるものに絞り上げるのが策定委員会の役目です。全員が前を向いて足並みを揃えるのは難しいですが、すぐ結果を生みだすものではなく、これからの油木地区、そして、自分の子どもや孫が住みやすい神石高原町への第一ステップがスタートしてきます。

第1回と第2回は「進め方」に関する内容でしたが第3回からは本来の役割で委員一同、時間を無駄にすることがないように進める方向で頑張っています。



アンケートの協力

ありがとうございます。

油木協働支援センターが立ち上がり、ドタバタと多彩なことがいろいろな角度で進んでいます。

そんな中、油木地区在住（勤務）の18歳以上の方々に向けて、長期事業計画策定のための基礎資料や現状把握、今後の方針のためにアンケート回答のお願いをいたしました。

配布は約2100件で有効回答数は1464件でした。みなさんお忙しい中、真剣に回答して

くださり、本音の部分が見え隠れする内容となりました。

過半数を超える人が、地区が寂しくなるのは時代の流れでどうにもできないと思うという結果がでていますが、行動すれば元気になると思っている人も過半数を超えていました。では、どんなことを行動すればよいのでしょうか。ひとつの案として都市部から新たな定住者を受け入れるべきと思う方が過半数を超える結果がでています。そのような結果を形にしていきたいと思います。ご協力大変ありがとうございました。

調査結果は裏面に掲載していますのでご覧ください。

まちづくり事業助成交付金

平成28年9月現在で2件の申請があり、交付決定されました。

◆南ゆき桜の里に東屋の建設

◆2016ゆきびるまつり



回答抜粋

■福山から1時間という距離は遠くもあるが、しかしこの距離が仕事やストレスから気持ちを切り替えるにはピッタリの距離でもありません。冬季でも確実に通勤できる交通手段があれば例えば都会から福山の会社に移り、住居を油木にしたいと思う結構多いと思います。本

腰を入れて都会でアピールすれば、人はきつて来てくれます。神石高原町、狭い暑苦しい都会に住む者にとってなんとさわやかな名前の町でしよう！■遊休農地を利用して、大麻・麻成分のない「を栽培してその繊維・実・油の加工産業を興す。■荒野を町営化し、ロッククライミング施設やフォームになりそうなまだ近隣にないスポーツジム開設など。■外国人観光客は東京大阪だけに興味があって日本に来ているのではない。神石高原町に魅力があれば福山で下車してここに来ます。観光客が増えれば雇用の場も増えるでしょう。外からのお金が神石高原町に入れば経済が動き出し少しずつ活気が戻ってきます。海外に暮らした経験から外国の人が日本の田舎にとても興味を持っていることを実感しました。

編集後記・三枝

夏が終わりましたね。神石高原町に家族で移住してきて4年が経過します。季節が楽しめる暑さができるようになったり、その時その瞬間を大切に過ごす生活は子供たちにとってすごく貴重な体験だと感じています。また訪れる冬も楽しみです。

その前に秋の味覚です！大好きな果実や木の实たちが美味しくて美味しく食べてみたいですね！いつかは自分で育ててみたいなあと思いつつも、時間に追われずに生きていけるように努力を重ねる毎日であります。



